

第 161 回 学長定例記者会見

日時：令和 5 年 11 月 27 日（月） 11：00～11：30

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F1 会議室

※ テレビ会議システムにより、記者会見の様様を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 東千田校舎 A 棟 3 階 中会議室

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 日中両国の有力大学学長が新しい大学教育・研究の在り方を協議し各界に提言 ―第 13 回日中学長会議を広島にて開催―
2. 広島大学 75+75 周年記念事業 第 32 回ペスタロッシー教育賞 表彰式・記念講演を開催します（12/21 開催）
3. 「2023 年ノーベル賞解説講演会」を開催します（12/10 開催）

【お知らせ事項】

1. 第 36 回サイエンスカフェ「ヨコエビはなぜ「横」になるのか」を開催します（12/16 開催）
2. 第 2 回広大きてみんセミナー「この冬空の向こうの宇宙」を開催します（12/17 開催）

■ 次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 5 年 12 月 20 日

場所： 広島大学 霞キャンパス



## NEWS RELEASE

令和5年11月21日

日中両国の有力大学学長が新しい大学教育・研究の在り方を協議し各界に提言  
—第13回日中学長会議を広島にて開催—

### 情報提供

日中双方の大学学長が一堂に会し、共通の課題等について話し合う日中学長会議は、日中両国の関係機関の協力により2000年から開催されています。本会議では、日中の学術交流、学生交流の促進に資するのみならず、両国の大学教育・研究の新しい在り方を模索し、各界に積極的に提言を行い、率先して実践することを目的としており、第13回日中学長会議は、広島大学による開催となります。

### <直近の開催実績>

主催校	開催テーマ
2019年 第11回 早稲田大学（日本）	「今と未来を繋ぐために、新たな連携の扉を開く」
2021年 第12回 中山大学（中国）	「開放、イノベーション、融合 ～日中協働による高等教育の新たな展開を目指して～」

### 記

### <第13回会議詳細>

- 【日 時】 2023年11月28日（火）・29日（水）
- 11月28日（火）午後：大学間個別会談、ウェルカムレセプション
- 11月29日（水）終日：本会議、大学間個別懇談、フェアウェルレセプション
- 【メイン会場】 リーガロイヤルホテル広島
- 【参加規模】 160人程度（日本・中国大学関係者、政府機関関係者）
- 【開催校】 広島大学
- 【幹事校】 東京大学・北京大学
- 【言語】 日本語および中国語（同時通訳）
- 【会議テーマ】 「多様性と融合 ～これからの時代に求められる人材と高等教育～」

セッションテーマ①：「ポストコロナの新しい大学教育・ICTの活用」

セッションテーマ②：「気候変動・地球規模課題への挑戦」

### 【参加大学・機関】

<日本側>24機関：北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、一橋大学、金沢大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、広島大学、九州大学、愛知大学、慶應義塾大学、上智大学、中央大学、立命館大学、早稲田大学、文部科学省、日本学術振興会、日本学生支援機構、大学改革支援・学位授与機構、科学技術振興機構

<中国側>18機関：北京大学、北京航空航天大学、北京師範大学、南開大学、天津大学、東北大学、吉林大学、ハルビン工業大学、大連理工大学、復旦大学、南京大学、浙江大学、中国科学技術大学、廈門大学、華中科技大学、西安交通大学、中山大学、華南理工大学

## 会議概要（※挨拶者・発表者等は今後変更の可能性あります）

- 開会挨拶  
越智 光夫（広島大学 学長）  
藤井 輝夫（東京大学 総長）  
龚 旗煌（北京大学 学長）
  
- 来賓挨拶  
呉 江浩（中華人民共和国駐日本国大使館 特命全権大使）  
西條 正明（文部科学省大臣官房審議官（高等教育及び科学技術政策連携担当））
  
- 基調講演  
越智 光夫（広島大学 学長）  
高 松 （中山大学 学長）
  
- セッション1「ポストコロナの新しい大学教育・ICTの活用」  
※発表大学はアルファベット順  
日本側発表大学：一橋大学、金沢大学、東北大学  
中国側発表大学：北京航空航天大学、復旦大学、ハルビン工業大学、華中科技大学、  
吉林大学、東北大学、天津大学、浙江大学
  
- セッション2「気候変動・地球規模課題への挑戦」  
※発表大学はアルファベット順  
日本側発表大学：北海道大学、名古屋大学、東京大学  
中国側発表大学：北京師範大学、大連理工大学、南京大学、西安交通大学
  
- 全体総括  
全体総括 渡邊 聡（東京大学総長特任補佐）  
次回開催校挨拶
  
- 閉会挨拶  
越智 光夫（広島大学 学長）

<第13回日中学長会議 プログラム>

11月29日(水)	
08:30~	開場
08:55~ 09:15	記念撮影
09:15~ 09:40	開会・来賓挨拶
09:40~ 10:40	基調講演(日中各1校、各30分)
10:40~ 11:00	コーヒープレイク
11:00~ 12:30	セッション1 「ポストコロナの新しい大学教育・ICTの活用」 発表(各大学5分)・質疑応答
12:30~ 14:00	昼食 日中大学間個別懇談
14:00~ 15:10	セッション2 「気候変動・地球規模課題への挑戦」 発表(各大学5分)・質疑応答
15:10~ 15:30	休憩
15:30~ 16:20	全体会合(総括・次回開催大学決定)
16:20~ 16:25	閉会挨拶
16:25~ 17:15	休憩 日中大学間個別懇談
17:15~ 18:30	フェアウェルレセプション(立食)

※ 取材可能な箇所を  で表記しています。

【お問い合わせ先】

国際室国際部グローバル化戦略グループ 久保田  
Tel : 082-424-6045 Fax : 082-424-6179  
E-mail : [kokusai-group@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:kokusai-group@office.hiroshima-u.ac.jp)

発信枚数 : A4版 4枚(本票含む)



【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学 広報室 行

日中両国の有力大学学長が新しい大学教育・研究の在り方を協議し各界に提言  
第13回日中学長会議を広島にて開催

日 時： 2023年11月29日（水）

会 場： リーガロイヤルホテル広島4階 ロイヤルホール

29日実施の記念撮影、開会来賓挨拶、基調講演、セッション1・2に限り

ご参加いただけます。

ご出席

ご欠席

貴社名

電話番号

（代表の方の電話番号）

（出席者 1）

部署名、職名：

ご芳名：

（出席者 2）

部署名、職名：

ご芳名：

（出席者 3）

部署名、職名：

ご芳名：

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、11月24日（金）10時までにご連絡  
願います（締切厳守）。なお、セキュリティの都合上、ご出席いただく全ての方  
について部署名、職名、ご芳名をお知らせください。

令和 5 年 11 月 27 日

広島大学 75+75 周年記念事業  
第 32 回ペスタロッチー教育賞  
表彰式・記念講演を開催します

広島大学教育学部とペスタロッチー教育賞実行委員会は、優れた教育実践を行っている個人・団体を顕彰する第 32 回ペスタロッチー教育賞の表彰式及び記念講演を令和 5 年 12 月 21 日（木）に東広島キャンパスで開催します。

## 記

受賞団体：特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会  
見晴台学園（みはらしだいがくえん）[名古屋市中川区]

## 表彰式・記念講演

日 時：令和 5 年 12 月 21 日（木）12:50～14:20  
表彰式 12:50～、記念講演 13:20～

場 所：広島大学教育学部 K201 講義室  
（東広島市鏡山一丁目 1 番 1 号）

主 催：広島大学教育学部、ペスタロッチー教育賞実行委員会  
後 援：株式会社もみじ銀行、株式会社中国新聞社

## プログラム：

- ・主催者挨拶  
ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）越智光夫
- ・祝 辞  
株式会社もみじ銀行頭取 小田宏史氏
- ・表彰状授与及び胸像贈呈  
ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）越智光夫
- ・記念品贈呈  
株式会社中国新聞社代表取締役社長 岡島鉄也氏
- ・記念講演  
特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会  
見晴台学園  
見晴台学園大学学長 田中良三氏  
見晴台学園中学・高校長 藪 一之氏

※記念講演終了後、記者会見を実施いたします。

※これまでの受賞者一覧等は、本学ホームページをご覧ください。

[https://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/about/ed\\_tokusyoku/pestalozzi](https://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/about/ed_tokusyoku/pestalozzi)

## 【お問い合わせ先】

広島大学教育学部内  
ペスタロッチー教育賞実行委員会事務局 西木  
Tel：082-424-7190 FAX：082-424-3478  
E-mail：ed-ken-zai@hiroshima-u.ac.jp



## 第32回ペスタロッチー教育賞表彰式及び記念講演

- 日 時 令和5年12月21日(木) 12:50~14:20  
表彰式 12:50~  
記念講演 13:20~
- 場 所 広島大学教育学部 K201 講義室  
(東広島市鏡山一丁目1番1号)
- 主 催 広島大学教育学部、ペスタロッチー教育賞実行委員会
- 後 援 株式会社もみじ銀行、株式会社中国新聞社
- 受賞団体 特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会  
見晴台学園

### プログラム

- 1 開会の辞
- 2 主催者挨拶  
ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長(広島大学長) 越 智 光 夫
- 3 祝辞  
株式会社もみじ銀行頭取 小 田 宏 史
- 4 表彰状授与及び胸像贈呈  
ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長(広島大学長) 越 智 光 夫
- 5 記念品贈呈  
株式会社中国新聞社代表取締役社長 岡 畠 鉄 也
- 6 記念講演  
特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会  
見晴台学園
- 7 閉会の辞

### 【お問い合わせ先】

広島大学教育学部内  
ペスタロッチー教育賞実行委員会事務局 西木  
TEL : (082) 424-7190  
E-mail : ed-ken-zai@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学

受賞団体

特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会  
見晴台学園（みはらしだいがくえん）





## 【第32回ペスタロッチー教育賞受賞団体紹介文】

第32回ペスタロッチー教育賞受賞団体に、特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会 見晴台学園(みはらしだいがくえん)が選ばれましたので発表いたします。

### 【第32回ペスタロッチー教育賞 受賞団体】

特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会  
見晴台学園(みはらしだいがくえん)

### 【沿革】

見晴台学園は、1990年に発足した「学習障害児の高校教育をもとめる会」(後に「学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会」に改称)を中心として、名古屋市に無認可5年制高校を開校したことに始まる。中学校卒業後の学習や発達に困難さを持つ子どもたちに「学びの場」を保障するべく、2001年には青年部および卒業生支援のための自立支援センターを、2013年には高校・高等部卒業者のための見晴台学園大学を開設した。2018年から2020年には文部科学省「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」を受託するとともに、2023年度からは高大一貫制とし青年期の生徒・学生のニーズに応じた教育実践に取り組んでいる。

(所在地：愛知県名古屋市中川区柳森町2708 板倉ビル)

### 【授賞理由】

見晴台学園は、中学校卒業後に自分に合った学びの場がなかった学習障害児・者の「学ぶ権利」の保障の重要性を早くから提起し、無認可の5年制高校や大学を設立することによって、制度の狭間であって光があてられてこなかった子どもたちの学びを支えてきた。今回はこの長年の活動が評価されての受賞となった。

インクルーシブな社会や学びへのアクセシビリティが注目される中、特別支援学校・学級の設置や大学への多様な進学機会の充実が進められてきた。その過程で「通常」学校・学級に通うことの難しい子どもたちの学びの場は特殊学校・学級として早くから制度的に整備されてきたものの、障がいの程度など様々な理由から通常学校に通うでもなく、また特殊学校に通うでもない子どもたちには、実質的な学びの場とその機会の保障はなされてこなかった。

こうした現状に対して、「学習障害児の高校教育をもとめる会」を発足させ、学習や発達に困難さを持つ子どもたちのための日本初の無認可高校を開校したのが見晴台学園である。同学園は、誰もが自分にあった学びを見つけ、「みんなが輝く」ことのできる学びの場をつくることで、とりわけ学びから疎外されてきた障がいのある青年たちの発達を保障してきた。「言語と数量」「自然と社会」「技術と人間」といった教科横断的なカリキュラムや「研究論文」の制作・発表、生徒・保護者・教師による「評価票」づくりなどの取組は、生徒一人ひとりがゆっくり・じっくり学びの場の創造を可能にしている。

2013年には「自分らしく豊かな人生を送りたい」と願う学習や発達に困難を抱える若者のために、法定外の大学も開学するなど、社会の中で周辺に置かれていた子どもや若者たちに手を差し延べてきた見晴台学園の取組は、貧児・孤児のためにシュタンツやイヴェルドンに孤児院を設立し、どの子どもにも教育の可能性を見てとったペスタロッチーの思想と実践に通じるものである。見晴台学園の長年の活動に対し、第32回ペスタロッチー教育賞を贈呈し、高く顕彰したい。

2024



広島大学75+75周年記念事業



# 第32回 ペスタロッチー教育賞 表彰式・記念講演

日時 令和5年12月21日(木) 12:50~14:20

12:50~ 表彰式 13:20~ 記念講演

会場 広島大学教育学部 K201講義室

参加の  
お申し込み

QRコードまたはURLをご利用ください

申込期限:12月19日(火)

<https://forms.office.com/r/7weMwdM03H>



特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会  
見晴台学園



1990年4月、無認可五年制高校(いわゆるフリースクール)として開校。中学を卒業後、自分に合った学びの場がなかった学習や発達に困難さを持つ子どもたちの教育の将来に展望を拓く期待をこめて『見晴台学園』と名付けた。2013年から高校・高等部卒業者の大学(4年制)を開設。2023年度から高大一貫制とし青年期の生徒学生のニーズに応じた「ゆっくり・じっくり・自分づくり」を大切にする学びの創造と実践に取り組んでいる。

ヨハン・ハインリヒ・ペスタロッチー (1746年~1827年)



Johann Heinrich Pestalozzi

スイスの教育家・教育思想家。教育の機会を与えられていなかった孤児や貧困家庭の子どもを対象に、「頭と心と手」の全人的教育の重要性を唱え、自ら学校を開いて、その有効性を世に示した。著書「隠者の夕暮」他

ペスタロッチー教育賞

広島大学教育学部では、株式会社もみじ銀行、株式会社中国新聞社の支援を得て、今日、我が国の極めて困難な教育状況の中で、優れた教育実践を行っている個人あるいは団体を顕彰するため、1992年に「ペスタロッチー教育賞」を創設しました。本賞は、ペスタロッチー精神に通じた教育実践を行っている個人あるいは団体に光を当て、その功績を顕彰することにより、もって現代の教育を見つめ直すきっかけとなることを期するものです。

お問い合わせ先

広島大学教育学部内 ペスタロッチー教育賞実行委員会事務局

✉ [ed-ken-zai@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:ed-ken-zai@office.hiroshima-u.ac.jp)

☎082-424-7190

主催 広島大学教育学部 ペスタロッチー教育賞実行委員会  
後援 株式会社もみじ銀行 株式会社中国新聞社

ペスタロッチー教育賞 歴代受賞者

	表彰式実施年度		個人・団体		備考
	(西暦)	(和暦)	教育賞	特別賞	
第1回	1992	H4	宮城 まり子		
第2回	1993	H5	谷 昌恒		
第3回	1994	H6	児玉 三夫		
第4回	1995	H7	山田 洋次		
第5回	1996	H8	NHK名古屋放送局テレビ番組「中学生日記」制作スタッフ		
第6回	1997	H9	本吉 修二		
第7回	1998	H10	黒柳 徹子		
第8回	1999	H11	社会福祉法人広島新生学園		
第9回	2000	H12	丸木 政臣		
第10回	2001	H13	佐野 浅夫		
第11回	2002	H14	社会福祉法人似島学園		
第12回	2003	H15	九里 茂三		
第13回	2004	H16	中野 光		
第14回	2005	H17	アグネス・チャン		
第15回	2006	H18	津守 眞		
第16回	2007	H19	昇地 三郎		
第17回	2008	H20	松田 実		
第18回	2009	H21	西谷 英雄		
第19回	2010	H22	金森 俊朗		
第20回	2011	H23	高谷 清	あしなが育英会	※1
第21回	2012	H24	一般社団法人「実践人の家」		
第22回	2013	H25	奥地 圭子		
第23回	2014	H26	水谷 修		
第24回	2015	H27	渡辺 和子		
第25回	2016	H28	湊 晶子		
第26回	2017	H29	中本 忠子		
第27回	2018	H30	和田 晋、児童養護施設舞鶴学園		※2
第28回	2019	R1	大石 由紀子		
第29回	2020	R2	村井 実		
第30回	2022	R4	MISIA		※3
第31回	2022	R4	北川 聡子		
第32回	2023	R5	特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会 見晴台学園		

※1 第20回を記念し、「教育賞」に加え「特別賞」も授与。

※2 1個人と1団体に「教育賞」を授与。

※3 コロナ禍のため2021年度ではなく、2022年度に実施。



令和 5 年 11 月 27 日

「2023 年ノーベル賞解説講演会」を開催します  
(12/10 開催)

今年のノーベル物理学賞は、「アト秒」と呼ばれるきわめて短い時間だけ光を出す実験的な手法を開発し、物質を構成する細かな粒子の 1 つ、「電子」の動きを観察する新たな研究を可能にした、欧米の大学の研究者 3 人が選ばれました。

ノーベル化学賞には、「量子ドット」と呼ばれる、1 ミリの 100 万分の 1 という「ナノ」サイズの極めて微細な結晶を発見するなどして、「ナノテクノロジー」の発展につながる基礎を築いたアメリカの大学の研究者など 3 人が選ばれました。

またノーベル生理学・医学賞には、新型コロナウイルスの「mRNA ワクチン」の開発で大きな貢献をした、ペンシルベニア大学の研究者 2 人が選ばれました。

これらを受けて当センターでは、一般の方、学生、教職員を対象として、2023 年ノーベル物理学賞、ノーベル化学賞、ノーベル生理学・医学賞についての解説講演会を開催いたします。是非ご参加ください。

記

【日時】2023 年 12 月 10 日（日） 13:00～16:30（開場 12:30）

【場所】広島大学東千田未来創生センター M201・202 講義室  
(広島市中区東千田町 1-1-89)

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

【講演者・タイトル】

13:00～ 加藤 政博（広島大学放射光科学研究センター・特任教授）

「電子の動きを捉えるアト秒の光」

14:00～ 齋藤 健一（広島大学自然科学研究支援開発センター・教授）

「量子ドット：7 色に光る不思議な微粒子 -TV,太陽電池,ガン治療へ-」

15:00～ 保田 朋波流（広島大学大学院医系科学研究科・教授）

「医療が大きく変わる!? 修飾 mRNA 技術」

講演終了後 質問コーナー

【参加費】無料

【お申し込み】不要

【お問い合わせ先】

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター

E-mail : ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp

Tel : 082-424-4384

2023年

# ノーベル賞 解説講演会

○ 事前申込不要  
○ 参加費無料  
どなたでもご参加ください

日時

場所

12月10日(日)  
13:00-16:30 (開場12:30)

広島大学東千田未来創生センター  
M201・202講義室

13:00- 物理学賞 電子の動きを捉えるアト秒の光

加藤 政博

放射光科学研究センター  
特任教授



14:00- 化学賞 量子ドット:7色に光る不思議な微粒子-TV,太陽電池,ガン治療へ

齋藤 健一

自然科学研究支援開発センター  
教授



15:00- 生理学・医学賞 医療が大きく変わる!? 修飾mRNA技術

保田 朋波流

大学院医系科学研究科  
教授



講演終了後 質問コーナー

## ■ アクセス

バス:JR広島駅→南口バス乗り場 広島バス(50号東西線)アルパーク方面行き→「日赤病院前」下車 徒歩2分  
電車:JR広島駅→市内電車乗り場 広電1番広島港行き→「日赤病院前」下車 徒歩2分  
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

## ■ お問い合わせ

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター

Email:ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp  
Tel:082-424-4384

# 2023 年ノーベル賞の各テーマ及び受賞者

- 物理学賞      電子の動きを捉えるアト秒の光
  - アメリカ      オハイオ州立大学    ピエール・アゴスティーニ氏
  - ドイツ      ルートヴィヒ・マクシミリアン大学    フェレンツ・クラウス氏
  - スウェーデン    ルンド大学    アンヌ・ルイエ氏
  
- 化学賞      量子ドット:7色に光る不思議な微粒子 -TV、太陽電池、がん治療へ
  - アメリカ      マサチューセッツ工科大学    ムンジ・バウエンディ氏
  - アメリカ      コロンビア大学    ルイス・ブルース氏、
  - アメリカ      コロンビア大学    アレクセイ・エキモフ氏(旧ソ連出身)
  
- 生理学・医学賞    医療が大きく変わる!?修飾 mRNA 技術
  - アメリカ      ペンシルベニア大学    カタリン・カリコ氏
  - アメリカ      ペンシルバニア大学    ドリュー・ワイスマン氏

令和 5 年 11 月 27 日

**第 36 回サイエンスカフェ「ヨコエビはなぜ「横」になるのか」  
を開催します（12/16 開催）**

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センターは、第36回サイエンスカフェを下記のとおり開催します。今回は「ヨコエビ」というのにエビではない生物について紹介し、なぜ「横」になるのか？など数々の謎に迫ります。

ゲストの先生も参加者のみなさんもコーヒーを片手にくつろいだ雰囲気を楽しむサイエンスカフェ。身近な科学に興味がある方なら、どなたでも気軽にご参加いただけます。

記

【日 時】令和5年12月16日（土）15:00～17:00（開場 14:30）

【場 所】東広島イノベーションラボ ミライノ+  
（東広島市西条岡町10-10 ベに屋ビル1F）

【テーマ】ヨコエビはなぜ「横」になるのか

【話し手】富川 光（広島大学大学院人間社会科学研究科 教授）

【聞き手】寺本 紫織（ファシリテーター） & 参加者のみなさん

【内 容】「ヨコエビ」は名前に「エビ」と付いているものの、エビとは全く別種で、むしろダンゴムシやフナムシなどに近い。生態系では、両生類や昆虫のほか、魚介類の主要な餌として重要な役割を担っている。マリアナ海溝のような深海から標高 5,000 メートルをこえるヒマラヤの氷河湖まで、地球上のあらゆる場所にたくさんの種類がすんでいる。なぜ、これほどまでに繁栄しているのか？ヨコエビに関する数々の秘密を探ることで、その理由に迫っていく。



【参加費】無料

【参加申込】右のQRコードよりお申し込みください。  
<https://forms.office.com/r/Yd5wJW4dnx>  
申込期限 12月14日（木）  
定員（40名程度）に達した場合は締め切らせていただきます。ご了承ください。



【サイエンスカフェHP】[https://www.hiroshima-u.ac.jp/rigakuyugo/science\\_cafe](https://www.hiroshima-u.ac.jp/rigakuyugo/science_cafe)

【お問い合わせ先】

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター  
E-mail : [ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp](mailto:ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp)  
Tel : 082-424-4384

令和 5 年 1 1 月 2 7 日

第 2 回 広大きてみんなセミナー  
「この冬空のむこうの宇宙」  
12 月 17 日（日）に開催します

広島大学きてみんなさいラボは、昨年 10 月 16 日 JR 広島駅南口の JP ビル 2 階に設置され、先月一周年を迎えることができました。

この度一周年を記念し第 2 回広大きてみんなセミナーを、宇宙を題材にして開催します。内容は次のとおりです。

日時：2023 年 12 月 17 日（日曜日）14：00～16：00

場所：広島大学きてみんなさいラボ（広島市南区松原町 2-62 JP ビル 2 階）

講師：広島大学宇宙科学センター長 川端弘治 教授

内容：地球から見て冬空の向こうはどうなっているのか、138 億年かけて形成されているという宇宙の神秘に触れながら、夜空の星々を題材に太陽系・銀河系、ブラックホール、ダークエネルギーなどについてわかりやすく解説いたします。

参加費：無料

定員：25 名（先着順）

参加申込方法：QR コードからお申し込みください。

申込：先着順（お早めにお申し込みください。）

受講対象：小学生以上

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 学術・社会連携支援部 きてみんなさいラボ  
TEL:082-207-1764







講師：広島大学 宇宙科学センター長  
川端 弘治 教授

この季節の夜空の星々を題材に、太陽系から銀河、  
ブラックホールやダークエネルギーについて、  
最近の研究トピックも交えて解説します。

**開催日時：2023年12月17日（日）  
14：00～16：00**

- 場所：広島大学きてみんさいラボ  
(広島駅南口、JPビル2階)
- 定員：25名（現地参加のみ）
- 対象：小学生以上
- 費用：無料

【応募フォーム】



【お問合せ先】[kiteminsai@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:kiteminsai@office.hiroshima-u.ac.jp)